

つくる楽しさを子どものうちに



“食”が変わると人生変わる

大阪ガス
協力講座

子どもが作る“弁当の日”をご存知ですか？その神髄は、親子の絆、家族団らんの大切さを実感し、人の役に立つことの喜びを子ども達が経験し、自己肯定感を育むこと。くらしの時間、食のあり方、消費者教育の視点から見た“食生活”について考えてみましょう。



大阪ガスは、「いただきます」で育もう。をスローガンに、食育活動に取り組んでいます。

2015年 **10月22日(木)** 10:45～12:15

会場：大阪教育大学柏原キャンパス A棟 2階 212教室

講師：竹下和男氏(元校長・“弁当の日”提唱者)

香川県在住。綾川町立滝宮小学校校長、高松市立国分寺中学校校長を歴任。滝宮小学校在籍時、子ども一人で作る「弁当の日」をスタート。国分寺中学校でも実践し、その教育効果を実証。退職後、平成22年から日本全国で幼児教育も含めた講演、執筆活動を実施。



参加希望の方は 10月19日までに下記E-mailにご連絡ください。

お申込み・お問い合わせは

協力

大阪ガス(株)近畿圏部
北部/東部奈良地域共創チーム

E-mail ohmoto@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

担当 大本久美子
(大阪教育大学 家政教育講座)

今年の『消費者教育論』授業で実施した 竹下和男先生講演会の感想（一部抜粋）

■共働きの夫婦などが増えていることもあり、自分で料理することの大切さや親への感謝の気持ちなど様々ないいことがあり、私が教員になったら「弁当の日」を実践したいと思いました。食事の大切さや噛むことの大切さなども知ることができました。自分が親になった時子どもと一緒に料理や家事をしようと思います。

■、話の内容はすごく興味があり、楽しいものでした。…。親元にいる時は三食ちゃんと栄養を考えられた食事を食べていました。ですが、今1人暮らしを始めてから自炊をすることがあまりありませんでした。今日話を聞き、これからはちゃんと自炊をしようと思いました。自分が親になった時自分の子どもに食の大切さを伝えていきたいと思います。今日は、ありがとうございました

■お話ありがとうございました。はなちゃんの味噌汁は前に見たことがあったのですが、涙が止まりませんでした。私は母から、小さな時から料理を教わっていました。母の手料理が大好きで一緒に作るのが楽しくて仕方ありませんでした。今も、料理は好きで家族や友達に喜んでもらえるのがとても嬉しいです。先生がおっしゃっている通りだと実感しました。最近、学校が遅かったりサークル・バイトなどが忙しかったりなかなか家でご飯を食べることが多くなってしまいました。でも、ちゃんと家でご飯を作れる時間を確保したり、家に帰った時にご飯を作ってくれる母に感謝しようと思いました。

■とても価値のあるお話でした。本当に聞いて良かったです。時間に制限がなければもっともっと聞きたいです。「どうして食生活が大切なのか」が実感できました。今まで、“大切”と言われてもピンとこなかったり、それがどう影響するのかわかっていないことがほとんどでしたが、今回の先生のお話で全てが繋がっていてその重要性が分かりました。両親、祖父母にしてもらってきたことを思い出すと「ありがとう」と言いたくなりました。

■貴重な話ばかりで勉強になりました。大学生向けの話でしたが、将来子供たちに教えたいと思う内容ばかりでした。そして、私も竹下先生のようにもっと勉強し知識を増やしていきたいと思います。今、もう一度耳を傾けてしっかりと聞きたいと思いました。

■子供の頃の習慣などがその後の生活をつくっていくということが自分のことを考えてみると本当にそうだなと思いました。自分自身、小さい時の習慣というのは残っているし両親と同じような行動などをしているなと思います。また、噛むことが大切ということについては、スポーツをする時はあごの力が大切なので実感を持っています。